

平成維新を実現する都民の会 第8回 運営会議議事録

※敬称略（記録文責：杉原健児）

日時：1995年2月7日（水）18：30～21：00。

会場：新宿リサイクルセンター・4階。

出席者：浅見勇喜知・我妻義之・阿部悠逸・江頭清昌・大熊喜昌・小田武史・小俣一郎・神村知行・小枝 尚・近藤珠甲・佐藤鶴次郎・澤井正治・渋谷 修・杉原健児・長妻 昭・長谷川文昭・治田桂四郎・松島道昌・松本広二郎（神奈川）・峰岸秀光・望月忠雄・山崎康彦・山本竜司。（23名）

配付資料：1）活動経過と活動予定（杉原）→平成維新フォーラム（03）#0000に掲載。2）2/4 住専処理に血税を使うな！街頭市民運動関係新聞記事7編（山崎）。3）Message Magazineぱど（松本）。4）市区議リーグのお知らせ（阿部）。5）会報委員会からのお知らせ（望月）。6）長妻昭事務所開設案内（長妻）。

回覧資料：7）全国地域活動ニュース（林冬彦作成）。8）全国連絡会ご案内（杉原）。9）大前研一通信／いしん埼玉市民の会会報／千葉会報 Break Through／東京会報生活者通信／維新プレス KANAGAWA／ツルの会広報誌（杉原）。

議事：（司会：杉原）

1. 「前回議事録」の確認を行い、原文通り承認された。

2. 「江頭東京代表世話人」の挨拶があった「激動の時、精一杯がんばりましょう！」

3. 出席者全員による、氏名・居住地等の簡単な「自己紹介」があった。

4. 下記事項について討議の結果、以下事項が「決定」された。

1) 杉原より下記「運営細則」改定案が提案され、討議の結果原案通り承認された。

（委員会・委員長・委員）→（委員会・委員長）

1項 「委員会の業務内容は別に定める。」の項→（削除）

2項 「委員会委員長・委員会委員は運営会議で決める。」の項
→委員会の新設・改廃および委員会委員長は、運営会議で決める。

3項 旧3項を削除し、旧7項を挿入する。

7項 区代表世話人が実質上欠員と

なった場合は、6項により選出されるまでの間運営会議が指名した者を、当該地区代表世話人とする。

8項 各区代表世話人は運営会議で、当該地区の活動経過・活動予定を報告する。

2) 上記7項により、東京8区・9区・11区では、区代表世話人が実質上欠員と認め、本運営会議が以下それぞれ、川副喜弘・峰岸秀光・杉原健児氏を指名した。

よって、「運営細則」に下記「付則」を追加した。

付則2月7日現在の各区代表世話人は、6項7項によりそれぞれ下記の者とする。新宿区・港千代田区・2区・3区・中野区・杉並区・渋谷区・5区～11区：佐藤鶴次郎・小田武史・神村知行・小林正明・鈴木正基・山崎康彦・大熊喜昌・治田桂四郎・阿部悠逸・小俣一郎・川副喜弘・峰岸秀光・仲野忠之・杉原健児。

3) 大熊喜昌渋谷区代表世話人より別に考慮するとの発言、当該地区会員で協議する。

4) 2月10～11日岡山開催の全国協議会出席を、長谷川文昭・林冬彦氏にお願いした。

5) 本会12月5日三鍋謙作9区代表世話人提出の「渋谷修支援願ひ申請書」を受けて、我妻義之選挙対策委員長から、都民の会推薦としたい旨提案があり討議した結果、選挙対策委員会が早急に推薦手続き方法等を決めて、再提案することとなった。

6) 望月忠雄会報委員会副委員長より、会報作業の協力要請があり、協議の結果、阿部悠逸・松島道昌氏に委員として協力願うこととした。

7) 会報4号掲載の会員名簿以降の新会員公表要請があり、次号掲載することとした。

8) 望月忠雄フォーチュンを読む委員会委員長より名称を、ビジネスシーズ研究委員会に変更する旨の提案があり了承された。次回は2月17日（土）10：30～12：30 開催。

5. 「各種情報・意見交換」があった。主な事項を記す。

1) 山崎康彦住専に血税を使うな！市

民集会実行委員長より、2月4日 13：00～16：00 新宿アルタ前で行った街頭演説・ピラ配り・署名運動に、会員約30名が参加した。なお神奈川でも同時刻、横浜→横須賀で会員6名による同様の街頭運動を行った。いずれも、神奈川・吉田春雄氏力作の「タタミー量大6850億円札パネル」の使用が人気を集め、新聞7社が記事掲載し、大成功だった旨の報告があった。

2) 次回は2月11日新宿西口にて同様の街頭運動を行う。集合新宿地下交番前13：00。

3) 2月18日の市民大集会の準備状況説明があり、準備・運動への協力要請があった。

4) 治田桂四郎会員拡大委員長より、会員拡大状況説明と拡大運動協力要請があった。

5) 阿部悠逸市区議リーグ委員会委員長より、次回2月17日への参加要請があった。

6) 松島道昌氏より2月16日の渋谷修君を国会に送る会の説明と参加要請があった。

7) 大熊喜昌渋谷区市民運動委員会委員長より、渋谷維新の会設立の説明があった。

8) 横浜・松本広二郎氏より「Message Magazineぱど」の説明と活用の勧誘があった。

9) 望月忠雄会報委員会副委員長より、生活者通信7号を2月2日に発送、住専チラシ1通を全員に同封、会員拡大委員会用に会報500部/70X500=35000円増刷した。

10) 神奈川・平岡昭三氏から生活者通信の内容が希薄との指摘あり、反論が多く出た。

6. 各区及び各委員会での経過と予定の報告あり一別紙「活動経過と活動予定」参照。

7. 会議後「祭り茶屋一番」で懇親会を行った。出席者10名、23：00頃まで。

8. 次回「第9回運営会議」は、1996年3月7日（木）18：30～21：00、会場は同じ。